

2015年7月吉日

日本心不全学会会員各位

一般社団法人 日本心不全学会

理事長 磯部光章

ガイドライン委員会委員長 池田宇一

「成人例の左室緻密化障害の全国調査」について（ご依頼）

拝啓 初夏の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より当会の活動に格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、左室緻密化障害（LVNC; left ventricular non-compaction）はこれまで見過ごされてきた希少心筋疾患で、従来は小児の疾患と考えられてきましたが、最近では成人例での報告が散見されます。LVNCは、突然死、心不全、塞栓症などの合併頻度が高いことが報告されていますが、わが国における成人例の実態は全く不明です。

そこで日本心不全学会では、成人例のLVNCの全国調査を行い、診療ガイドラインの作成の必要性等について検討することになりました。過去3年間(2012年1月～2015年6月)に症例を経験された会員におかれましては、ご多忙のところ恐れ入りますが、同封のアンケート用紙にご記入いただき、2015年7月30日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。LVNCの診断については、添付の資料をご参照ください。

なお、本調査は信州大学医学部の倫理委員会の承認を得ていますが、「疫学研究に関する倫理指針」に従い、貴施設の倫理委員会の承認ならびに対象者からインフォームド・コンセントを得る必要はありません。該当する患者情報に関しては後日詳細をお伺い致しますが、これにつきましてもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

本調査に関する問い合わせ先

成人LVNC全国調査事務局（小山 潤）

信州大学医学部循環器内科学教室

〒390-0804 長野県松本市旭 3-1-1

0263-37-3194(直通)

jkoyama@shinshu-u.ac.jp